

# 奈良の仏像海外展示（大英博物館）概要

古都「奈良」の祈りの歴史の中で大切に守り伝えられてきた古社寺の名宝を展示

## （仮称）「奈良 一信仰と再興」 “NARA faith and renewal”

「日本」のはじまりの地と言われている奈良には、ユーラシア大陸における東西文化交流を背景に持つ仏像が受け継がれてきました。奈良の社寺では、長い祈りの歴史とともに、その伝統に根差した造形文化が育まれています。

ギメ東洋美術館における「古都奈良の祈り」展に続く本展では、古都奈良を代表する古刹法隆寺・薬師寺・東大寺・唐招提寺・西大寺、さらに春日大社、丹生川上神社の名宝を大英博物館に出陳します。

普段は奈良を訪れなければ味わえない、仏像や神道美術の持つ美しさや精神性を伝える貴重な展示をとおり、シルクロードの東の終着点として日本文化の礎を築いた古都「奈良」の奥深い魅力を紹介します。

会 期： 2019年10月3日（木）～11月24日（日）

会 場： 英国 ロンドン 大英博物館

朝日新聞ディスプレイ（Room3）、三菱商事日本ギャラリー（Room92-94）で調整中

主 催： 奈良県、大英博物館

監 修： 根立研介（京都大学教授／奈良県学芸政策顧問）

ティモシー・クラーク（大英博物館日本セクション長）

サムエル・C・モース（アマーフト大学教授／大英博物館コンサルタントキュレーター）

特別協力： 法隆寺、薬師寺、東大寺、唐招提寺、西大寺、春日大社、丹生川上神社、

奈良国立博物館、東京国立博物館、朝日新聞社、三菱商事

出陳作品： 国宝、重要文化財を含む 20 点程度

主な出陳予定作品（時代／テーマ順）：

国 宝	銅造観音菩薩立像（夢違観音）	法隆寺	飛鳥時代
国 宝	銅造誕生釈迦仏立像及び灌仏盤	東大寺	奈良時代
重要文化財	木造増長天立像	唐招提寺	奈良時代
重要文化財	木造如意輪観音坐像	西大寺	平安時代
重要文化財	木造地藏菩薩立像（善円作）	薬師寺	鎌倉時代
重要文化財	舞楽面 散手（定慶作）	春日大社	平安時代
奈良県指定	木造罔象女神坐像	丹生川上神社	鎌倉時代

\*作品は事情により変更となることがあります。

主な出陳作品（報道発表用図版）



国宝 銅造観音菩薩立像（夢違観音）  
法隆寺



国宝 銅造誕生釈迦仏立像及び灌仏盤  
東大寺



重要文化財 木造増長天立像  
唐招提寺



重要文化財 木造如意輪観音坐像  
西大寺



重要文化財 木造地藏菩薩立像  
薬師寺



重要文化財 舞楽面 散手  
春日大社



奈良県指定 木造罔象女神坐像  
丹生川上神社